

# 甲佐町の 夏の風物詩 第61回 あゆまつり



- 龍神太鼓の演奏で始まった「開会セレモニー」
- 町中に掛け声が響いた「子どもみこし」
- 涼を満喫した「巨大そうめん流し」
- 力作が並んだ「街かどギャラリー」
- 親子で夢中につかんだ「アユのつかみ取り大会」
- くまモンも登場し元気に踊った「総盆踊り大会」
- まつりの雰囲気盛り上げたかかしと竹のアート
- 「うなぎ放流体験」も緑川で同時開催



## 甲佐に夏の到来を告げる あゆまつりが盛大に開催

7月24日(日)本町の夏の恒例一大イベント「第61回あゆまつり」が、市街地および中甲橋グリーンパークほかで盛大に開催され、大いににぎわいを見せた一日となりました。

町、甲佐町観光協会、甲佐町商工会、町教育委員会の共催。

まつりの開幕を告げる「開会セレモニー」は、午前9時から町総合保健福祉センター駐車場で開催され、龍神太鼓の力強い演奏で開会。関係団体が参加して安全祈願祭が執り行われ、主催者あいさつとして、奥名克美町長(甲佐町観光協会長)が、「まつりは、参加してこそ楽しさが増します。夏のひとときを楽しんでください」と述べました。

「子どもみこし」は午前10時30分から始まり、町総合保健福祉センター駐車場を発着点に、12団体約540人が参加。手作りみこしを担いだ子どもたちが、夏の日差しを浴びながら元気で勇ましい掛け声を上げて、市街地を練り歩きました。みこし終了後に、大井手川沿いでは「巨大そうめん流し」が開催。多くの人が集まってそうめんを味わい、甲南パークでは、風船などを使った「大道芸人ショー」も開催され、子どもたちは熱心に観賞しました。

市街地では、甲佐町文化協会が「街かどギャラリー」を開催し、書





道や絵画、版画など、10団体が約80作品を展示。甲佐小学校周辺では、「かかしコンテスト」の作品42体が展示されてまつりを盛り上げました。午後3時からは、甲佐小学校プールで「アユのつかみ取り大会」が開催。今年は600人以上の子どもたちの懸命な声援を受けながら、子どもたちは網を手にして、泳ぎ回るアユと奮闘して水しぶきを上げました。

あゆまつり恒例の「総盆踊り大会」は、午後6時から甲南パークで開催され、夕暮れとともに「おおいで灯り」の創作いかだや竹アートの明かりが灯り、16団体約620人が浴衣姿や法被（はっぴ）姿で踊りを披露。午後7時から、中甲橋グリーンパークの特設ステージでステージイベントを開催した後、約3,000発の花火が夏の夜空を鮮やかに彩る「花火大会」を開催。会場に訪れた観客は、しばし夏の暑さを忘れて夜空に咲き誇る花火を眺めました。

関連行事として、7月9日（土）・10日（日）に少年野球大会、18日（月）に少年剣道大会、24日（日）にグラウンドゴルフ大会も開催しました。

また、同日、緑川漁協による「ウナギ放流体験」が中甲橋グリーンパークで、甲佐町直売所「ろくじ館」運営委員会が「お食事処『こはんよ』」を町農業研修センター「ろくじ館」で開催しました。